

# UT

United Tomorrow

ユナイテッド・トゥモロー Vol.1

人生には、  
いろんな  
道がある。



くつろぎステーション  
つばさ

江頭 雅史

大阪市北区同心1-5-27  
(社福)大阪ボランティア協会・北区事務所 気付  
E-mail: tsubasa\_piyopiyo@hotmail.com

<http://kutsurogitsubasa.web.fc2.com/>

できれば、カーナビになりたいんです。

中2の時のいじめ、大学生の時の自分さがし、という2度のひきこもり体験を経て自分と同じように悩む妹分や弟分の力になりたいと活動をスタート。居場所を見出すお手伝いや就労支援などを行っています。生きる道しるべになりたいが、地図ではダメだと思うんです。そう、言うなればカーナビのような存在になりたい。運転するのはあくまでもその人自身。その人の希望を聞きながら、行き先をアドバイスするカーナビ。でも、そっちじゃない！とか行き先変更！とかも全然OK。間違ってもいつでも戻れる、そんな人生のカーナビがあればいいと思うんです。現在は自身の病気を抱えながらも、成年後見人の仕事を身体に無理のない程度で行いながら充実した活動をしています。





# 迷い鳩。



特定非営利活動法人  
kunこころの宮  
長原 洋子  
大阪市鶴見区猪口1-1-66  
E-mail: info@kun-kokoronomiya.org  
TEL.06-6911-1984

<http://www.kun-kokoronomiya.org>

## 迷って迷って 迷いつづけて 見つけた役割。

私自身、長年生きてきて節目節目で自分が何をしたいのか悩んできました。そんな自分さがしから始めた心理学の勉強。ようやく資格をとっても活かす場がない。ないならつくろうと立ち上げたのが“kunこころの宮”です。でも心のカウンセリングって、どこかアヤシイ？ストレス過多な時代のニーズに応え、そのあやしさを払拭するためにフォーラムへの参加や傾聴ボランティアの育成など積極的に活動してきました。やっつけてうれしいのは相談者が何かを見つけた顔に気づいた瞬間。女性も男性もエステに行くような感覚で、心のモヤモヤを洗い流しに来ていただけたらうれしいですね。



NPO 法人  
e-kotonet  
三木 苗千桂  
大阪市東住吉区南田辺  
E-mail: miki7869789@ares.eonet.ne.jp  
TEL.090-1026-6407

<http://www.e-kotonet.org>

## 最初は、 まるでゴミ屋敷!?

子育てがひと段落し、なにか社会貢献がしたい。そんな想いを抱いた時に思い出したのが以前勤務していた会社の自販機に貼られていたエコキャップ回収活動のポスター。それが3年前。キャップの回収をやり始める中で、納得のできないことが多々あり2年前に自分たちで団体を立ち上げました。400個集めると10円で引き取ってくれるので、800個で20円。かつては小児マヒと呼ばれたポリオのワクチン一人分になる。一生懸命集めはじめ善意の輪がひろがり、置き場所がないことに気づいた。もう、自宅はキャップだらけ。それでもおさまらず実家のガレージもキャップだらけに(笑)。今では、ひと月5トン!近所の運送会社さんが活動に賛同してくれて預かってれています。…助かりました。ひとつでいいので自分のできるいいことをしよう。そんな気持ちが集まれば日本を変えることができると信じています。



コレ、  
どうしょ(⊖)。

# Japanese? American? African?



## 肌の色なんて ほんと関係ないんです。

ひと皮むけば、みんな同じ人間。レントゲン写真をみれば人種の違いなんて付きませんよね(笑)。だって写らないんですもの。肌の色が目で見えなくなるとはじめて同じ人間であることを実感するなんて…。

©ご意見・ご感想をUT事務局までお寄せください。

UT





銀メダル。

心の中に、



特定非営利活動法人  
プール・ボランティア  
織田 智子 / 岡崎 寛  
大阪市中央区島町 2-4-3-902  
E-mail: pv@pool-npo.or.jp  
TEL: 06-4794-8299

<http://www.pool-npo.or.jp>

## 東京から飛行機で ボランティアに 来てくれるんですよ。

「ボランティアをされる方にお支払いするのは500円。なのに、東京から飛行機に乗って大阪まで来てくれる方がいるんですよ。おカネじゃない価値を見い出してきてるんですね。」そう笑顔で話す岡崎さんと織田さん。障害者も高齢者も健常者と同じようにプールを楽しむ世の中にしたい。と団体を設立されました。それから10年。始めた当初は右も左もわからず周りからいろんなことで怒られ叱られたそうです。でも続けてきたから今があるのですね。「泳ぐことの気持ちよさは、その子の顔を見ればわかります。ありがとうございますと言われた時のうれしさはたまりませんよ。ボランティアだからと堅く考えず、やってみて違うとおもったらやめればいいし、月に一度でいいから手伝ってほしい。もちろん泳げることが前提ですけど(笑)。」

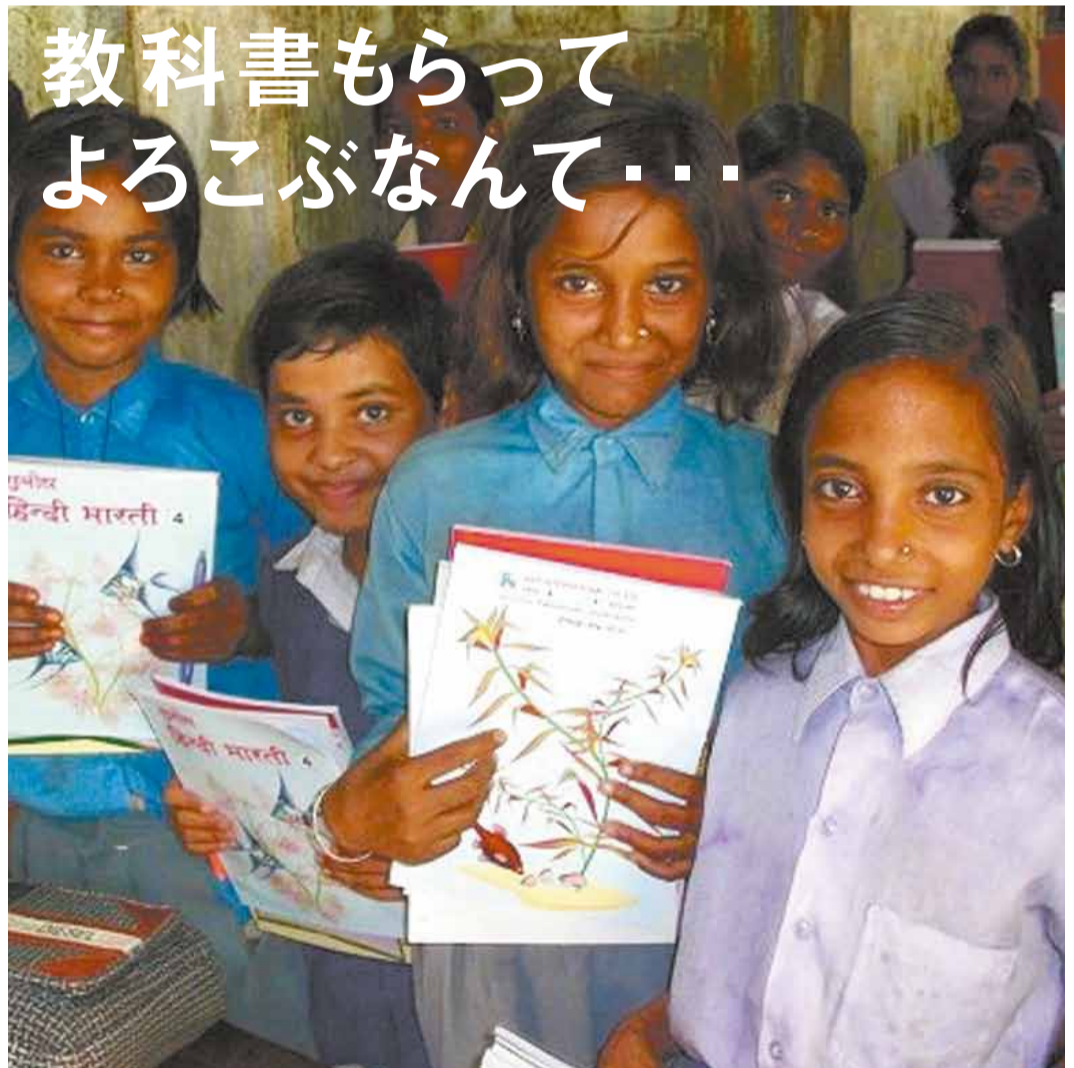


特定非営利活動法人  
インドマイトリの会  
吉田 有希 / 中川 直美  
大阪市福島区福島6丁目 20-2  
チェリービル207  
E-mail: maitri@f5.dion.ne.jp  
TEL: 06-6454-0893

<http://www.h2.dion.ne.jp/~maitri>

## 私は、どうだったかな？ うれしかったかなあ。。。

そんなことを実感させてくれたインド・クシナガラでの活動。テレビもゲームもマンガもない子供たちにとって、自分だけの教科書は本当に宝物なんですね。勉強したくてもできない子供たちに、教科書や筆記用具を手渡すことで、子供たちの選べる未来が増えてゆきますと、吉田さんは話してくれました。8年前に教科書を手渡した子供が、今では先生になってたりするんですよ！私たちの当たり前が、当たり前じゃない世界。と中川さん。急成長する大国として注目されているインドには、そんな子供たちがたくさんいます。NPOと言うと、熱く語られるんじゃないか…と身構えられたりすることもあります。そんなこと無いんですよ(笑)。大学生の時にテレビでみたドキュメンタリーに触発されて、それから数年、インドマイトリの会で働くことになった吉田さん。短大卒業後に青年海外協力隊に参加し、帰国後、北海道での教員生活を送る中、インターネットでスタッフ募集を知りインドマイトリの会で働くことになった中川さん。やりがいを感じながらも、こういう活動がつづくこと=学校にいけない子供がいるという現実にも悩むこともあるとおっしゃってたのが印象的でした。



## 知られざる活動に光を。

世の中にはいいことをしている人がいる。私たち自身、知らなかっただけでいろんなボランティア活動があるんです。そう、たしかにこの世の中にはいろいろな問題がある。雇用の問題、心の問題、薬害の問題、病気の問題、障害の問題、貧困の問題・・・書ききれないほどまだまだあるのです。そんな問題をなんとかしよう頑張っている人たち。でもその活動はあまり知られていない。どんな人たちが、どんなポリシーで、どのように活動しているのか。こんなに社会や人のために役立つことをしているのに、知られていないなんてお話を聞き、私たちでもお役に立てるのではないかと考えました。社会貢献活動の情報をメッセージ広告として発信したい。世の中の多くの人たちに知ってもらい、もっと活用してもらいたいとフリーペーパーを創刊することにしました。名前は『ユナイテッド・トゥモロー』。さまざまな人が力を合わせ、よりよい社会づくりを目指す社会貢献情報紙です。





メモリアル・キルト・ジャパン  
寺口 淳子  
大阪市西区江戸堀1-19-23 長崎ビル403  
E-mail: info@mjq.jp  
TEL: 06-6459-4098

<http://mjq.jp/>

## エイズで死んだら、 なかったことに されてたんです。

「20数年前、名前で呼ぶことも許されなかったエイズ患者。ひとりの人間として生きてきたことを世の中に訴える人権活動としてアメリカで始まったのがこのメモリアルキルトの活動です。等身大の大きさのキルトに故人への想いが縫いこまれています。」と、京都の病院で看護部長をしながらメモリアル・キルト・ジャパンの活動をされている寺口さん。「日本でも、薬害で感染してしまった方はいいエイズで、SEX感染した人は自業自得で悪いエイズと言われた時代がありました。そんなエイズ自体が差別されていた中で、HIV陽性者たちは感染経路の違いを越えて共に闘ってきました。死というものは、誰にも避けられません。大切な存在を亡くした人への心のケアが大切だと感じています。看護の場にいるものとして、ひとりの人間として、できることをしてゆきたい。」その瞳はまっすぐで美しいと感じました。



## ウッセーなんて、 言ってたんです。

朝、起こしてもらうのは当たり前。メシをつくってもらうのも当たり前。洗濯も、こづかいも…。自分で働くようになって、結婚して子供ができて、やっと気付くなんて遅すぎますよね。思い返せば、『好きで生まれてきたんじゃない』とか『金持ちの家に生まれてきたらよかった』とかひどいことばかり…。

◎ご意見・ご感想をUT事務局までお寄せください。

### ●掲載および協賛のご案内

社会貢献活動をされているNPO団体の掲載料は5,000円です。そのためUTの主旨に賛同いただける個人や企業の協賛を募っています。掲載申し込みならびに協賛申し込みについては下記UT事務局までお問い合わせいただくかUTホームページよりお申し込みください。

<http://www.united-tomorrow.com>

ご意見・ご感想・お問い合わせ・掲載のお申し込みは

UT事務局 編集長 尾関栄二

mail: ozeki@gogo-ts.jp hp: 090-9162-1845

ユナイテッド・トゥモロー創刊号(2010年9月20日 発行)

発行/(有)ティーズ × オゼキ・ワールドワイド  
〒550-0002 大阪市西区江戸堀1-23-13(肥後橋ビル3号館12F)  
TEL.06-6447-4611 FAX.06-6447-4622  
企画・制作/尾関栄二(オゼキ・ワールドワイド)+朝山竜一+溝手真一郎(ティーズ)+高木知佳(ティーズ)  
制作協力/西出光博+山本誠一+伊藤祥行+島本太輔+船山晋吾  
監修/寺内孝典 印刷/(株)日東  
◎掲載の写真・イラスト・記事等の無断転載、および複写を禁じます。

